

II 次の文章〔1〕～〔3〕を読み、(a)～(t)の問いに答えよ。

〔1〕 弥生文化・古墳文化・飛鳥文化が展開していた時代に南西諸島では、  
[ A ] 文化が定着していた。また沖縄本島からは中国大陸との交易があった  
① ことを示す遺物も出土している。当時の琉球の社会は漁労・採集経済に基盤を  
おいていたと見られるが、12世紀頃から稲作が本格化するとともに、各地に  
有力豪族が現れ、今帰仁城、浦添城など [ B ] と呼ばれた城砦を築き、互い  
② に争った。14世紀になると、豪族のなかから王を名乗る勢力が登場して  
[ C ] ・山南・山北の三山へと統合が進み、三山の王はそれぞれ明王朝に朝  
貢し、覇を競ったが、 [ C ] 王の尚巴志が1429年に琉球を統一して琉球王国  
を建て、王府を首里においた。

琉球王国は中国大陸・東南アジア・朝鮮・日本を結ぶ中継貿易を展開して繁  
③ 栄するが、1609(慶長14)年に徳川家康の内諾を得た [ D ] に征服され、薩  
摩藩の支配下に入った。琉球では検地が行われて本土と同様の石高制による支  
配が行われ、特産品の黒砂糖や中国への朝貢貿易で得た下賜品も薩摩藩に上納  
された。幕府は琉球王国に対し、琉球国王の代替わりごとに [ E ] を、将軍  
④ の代替わりごとに [ F ] を、それぞれ江戸まで派遣するよう求めた。琉球王  
国は江戸時代を通じて、薩摩藩と清とに両属する体制の下におかれたが、明治  
新政府は [ G ] 年に琉球王国を琉球藩とし、その2年後に生じた [ H ] で、  
日本は清に対し琉球民が属民であるという立場をとり、琉球に対しては清への  
朝貢の停止を通告した。

(a) 空欄 [ A ] にあてはまる、もっとも適切な語句を下から一つ選び、記  
号で答えよ。

- ㉑ 先島                      ㉒ 無文土器                      ㉓ 彩文土器                      ㉔ 貝塚

(b) 下線部①の「遺物」として、適切でないものを下から一つ選び、記号で  
答えよ。

- ㉕ 明刀銭                      ㉖ 富本銭                      ㉗ 開元通宝                      ㉘ 五銖銭

(c) 下線部②に関連して、これらの豪族の総称を何というか。もっとも適切  
な語句を漢字2文字で答えよ。

(d) 空欄  にあてはまる、もっとも適切な語句を答えよ。

(e) 空欄  にあてはまる、もっとも適切な語句を答えよ。

(f) 下線部③に関連して、琉球王国が中国にもたらした日本製品として、適切でないものを下から一つ選び、記号で答えよ。

㉔ 陶器

㉕ 刀剣

㉖ 屏風

㉗ 扇子

(g) 空欄  にあてはまる、もっとも適切な人名を答えよ。

(h) 下線部④の空欄  ・  にあてはまる語句の組み合わせとして、もっとも適切なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

㉔ E. 通信使 F. 慶賀使

㉕ E. 慶賀使 F. 謝恩使

㉖ E. 通信使 F. 謝恩使

㉗ E. 謝恩使 F. 慶賀使

(i) 空欄  にあてはまる、もっとも適切な西暦年を答えよ。

(j) 空欄  にあてはまる、もっとも適切な語句を答えよ。

[2] 律令国家が本州東北南部から南九州に至る地域を支配していた時代、北海道南西部やサハリンには、続縄文文化の系譜を引く  文化が展開し、また北海道東部・北部の沿岸地域や千島列島には  文化が分布していた。これらの文化を源として、13世紀頃にアイヌ文化が生まれたと考えられる。当時のアイヌの生業は狩猟・漁労・採集を主としていたが、他方では津軽の  などを拠点として沿海州の異民族や本州の和人と活発に交易した。和人は渡島半島南部に進出して館を築き、津軽安藤（安東）氏の支配下で領主として支配を拡大し、しばしばアイヌと衝突する。江戸時代にこの地を支配した松前藩は、家臣に特定の交易地でのアイヌとの直接交易を認め、その収入を与えたが、18世紀前半には和人商人が交易地の運営を請け負い、運上金を上納させる制度を取り、和人によるアイヌへの統制・収奪も厳しくなっていた。